

時事新報定價

時事新報は毎號八面乃至十二面にして詳細なる商況物價の報告あり其代價運送料は左の如し
一號 貳錢五厘〇一箇月 前金五拾錢〇三箇月 前金壹圓四拾五錢〇六箇月 前金貳圓八拾五錢〇一箇年 前金五圓六拾錢〇月曜日休刊(此他大祭祝日年始年末等一切休刊セズ)

時事新報運送料

- 一 日本國內並に朝鮮京城、仁川、釜山、元山津、一箇月 金拾三錢
二 南亞米利加、中央亞米利加、米國若くは加奈陀を經て郵送する歐洲各國 一箇月 金六拾錢
三 北米合衆國、英領加奈陀、布哇諸國 一箇月 金三拾錢
四 香港を經て郵送する亞細亞諸國、太平洋諸國、澳洲、一箇月 金六拾五錢
五 露領滿洲、清國諸港 一箇月 金三拾五錢

時事新報廣告(前支)

Table with 2 columns: 行 (Line) and 價 (Price). Includes rates for 1 line, 10 lines, and 100 lines.

本社(寄稿)に付

東京府下を始め各府縣に通信社なるものありて是より各新聞社に報運を發送し各新聞社は之を受けて紙面を填寫するより各社同一の通信員を擧ぐるも寡からず獨り時事新報社は社員並に通信員の多きを以て斯類の社に通信を依頼せずと雖も世間往々此事を知らずして通信社にさへ報運すれば本社に其報運は達する事と信する方多きが如し爲めに往々誤を生じたる場合も寡からざれば本社に記事論説を寄稿せんとする方は直接に本社に向て發送あらんことを請ふ

時事新報

鐵道會社の儉約は遂に危険なきを保證す可らず

前節に云へる如く鐵道會社同人の會計法は唯眼前に收入の數を多くして永遠に積極的利益を思はず公衆の不便を度外視するのみか併せて自家の不利を知らざるが如き實に驚く可き沙汰なれば此も事たる必ずしも會社役員のみならず凡そ今の鐵道の株主たる者は其事業に利益を期するものと大に過るか又は其株券を弄び配分利益の多きを聲言して投機射利の骨牌に用ひんとする者多きが故に會社の事務を整理して正々堂々の基礎を固くし餘々に進んで永年の利を謀らんとすれば忽ち目下の配分を減じて株主をして失望せしめ又は其投機の誘引を妨げて大不平の聲を聞かざる可きが故に安全を主とする役員自身としては本意ながら社費を削減して利益の大なるを裝はざるを得ず況んや其役員が自から投機社會の人なるに於てをや如何なる無理を犯しても利益を示して社運萬端の虛勢を張るゝと當然のものと然るに愛に欺く可らざるは事物の道理にして殊に鐵道の事業は一より十に至るまで有形の基礎より成立し直に真摯長期の支配を受けざるものなし鐵道の隆盛を思れば汽車の震動を増して時として危険の虞あり機關車の監視を怠れば蒸氣を漏らして

關子の狂ふとあり一針の穴、一鑽の鑄、一石の動搖、一柱の傾斜、その影響する所大なるのみならず如何なる大災害も亦測る可らず扱ふの種の不慮に備豫するは人の力に依頼するの外なる可し是即ち鐵道に人物を要する所以にして其總務理事者に才學兼備第一流の人を撰ぶは勿論以下の事務員技師より驛長車掌の末々に至るまでも大は大小は小として各責任を負ひ晝夜不斷細々些末事に注意して秋毫の遺漏なく瞬間の油斷なくして始めて安全の鐵道を得べし此等の點より視るときは會社の會計上に錢の大切なるは固より言ふまでもなきものとされども所謂素明人の根性を以て一鐵金の得失に精神を動かして店の商品を仕入する筆法を以て人物を買入れんとし之を評價し之を直切り其買入れたる後にも亦價の低減を謀るが如き有様にて果して能く安全を保證す可きや否や聊か掛念なきを得ず現に今日或る一二會社の如きは其鐵路機關車等の注意不行届にして汽車の運行程ならず甚だしきは蒸氣の繻より漏るるを目撃したる者さへありと云ふ實に恐る可きの極なり畢竟その然る所以の本を尋れば株主の意を迎へて經費削減收入増加を旨とし以て配分益を多くし又株式市場の景氣を維持せんとするの熱心よりして遂に此極に陥りたるものとならんのみ凡そ有情の人間にして錢を欲せざる者なし分り切つたる事實なるに役員等の給料を減らして先づ其情威を傷ひながら萬事に於て儉約を命ずるからには其影響は必ず有形無形の部分に發して害なからんと欲するも得べからず我輩は萬般の事業に冗費省略の要を知らざるに非ず常に之を論じて人の耳を煩はしたる程の次第なれば今この鐵道會社に就ては其實際に現はれたる不都合の事實を見て之を其會計法の失當に歸せざるを得ず或は會社は金に吝なるに非ざれども事務の整理せざるが故なりと云ふか然らば則ち其不整理は會社重役の罪なり重役等が種々無量の他事に手を出して本務を怠り一人にして二三會社の事を擔任し又は會社の事務よりも投機射利の事務に忙しきが故ならん斯る人物に大切至極なる鐵道を托す可らざるは無論のものとされば遂に之を放逐して可なり今ふに事實を以て讀者の了解を易くせんとするには都鄙に行はるる營業馬車をも屈強の一例なれば馬車も十數年前發起の時代には相應のものにして車も一寸奇麗なれば馬も逞しく左まで不體裁のものと成りしに何かの事情の爲めに最初の發起者は去りて次第に他の手に移ると共に諸方に同業を企てるもの多しして今殆んど下等社會の營業と爲り之を主宰する人物とてはなきして其經費に削減を加ふるも甚だしく車の修繕に怠るのみか飼料をも大に削減して馬は骨立、車は他彼此の力を名けてば馬車と稱し一見賑に堪へず左れば今日の鐵道を以て直にば馬車に比するは事の大小物の美惡固より同日の論に非ずと雖も其事物創造の際に特に缺典もなかりしものが歲月を経るに従ひ次第に經費を削減して次第に主宰以下の人物を失ひ次第に事業の不體裁を致すの順序に至りては今の或る鐵道會社も彼のば馬車の粗惡に傾きし當年の其初歩を歩して同様の方向に向ふものと云ふも或は不可なきが如し馬車粗惡の災は階梯に蹄馬を驚し車を覆へすに過ぎざれども汽車の變は則ち然らず我輩は他年一日の杞憂に堪へざる者なり若しも鐵道會社の當局者たる株主を始めとして役員等が此相變を共にするならんには何故に其規

雜報

政海漸く活氣を帯ぶ

現内閣は八方美人の名稱に背かサレ閣議委員會ヤレ行政整理と圓滿の主義を取り今日までは各黨派の間を操縦し來りしかば政黨の整理の結果を待ち政海は至極太平無事にして昨今は箱や睡り込たる模様なりしが愈よ一昨十三日を以て議會の招集令も發布せられたれば最早行政整理の結果も其内閣表せざるを得ざるべく又久しく打捨て置きたる對議會策及議員間の連絡を付くる準備も多事ならんとするの模様にて議員の大巨訪問も一時に比すれば驚き方なりと云へり

殖民協會の近況

殖民協會にては曩きに調査委員の手に於て調査せし日本移民株式會社の收支計算に關し種々協議中なりし處に略ぼ其の全部を議了せしを以て今一應右委員會議員會議の上意より明十六日午後六時より開會の答なる評議會に其結果を報告する由なり

何故に咎めざるや

自由黨が多年廉潔潔白を以て世間の道徳に立ちし事蹟は他人に對して自ら常に誇る處なるにも拘はらず近時一部の黨員が往々面白からぬ世評を受け中には事實蓋ふべからざるものもある一人の之を咎むるものなきは如何なる次第にやと云ふに是等の疑を受け居るものは會同黨有力の人々なれば一般の黨員は其勢力に壓せられ言ふべき議論も成るべく控目にするが爲めならんと云ふものあり

出獄人保護の必要

出獄人保護事業は行政最終の目的を達するに缺くべからざるものにして犯罪預防に必要なるものと固より論を俟たず歐米諸國に於ては既に監獄の改良を圖ると共に致々として斯事業を擴張するの策を講じ現今至るところ殆んど保護會社の設立を見ざるはなし彼の國會議の如きも毎に出獄人保護の問題に及し大に斯事業の發達進歩を促せり我國に於ける監獄事業は概近稍や改良の緒に就きたるも出獄人保護の事業は更に振はす甚だ遺憾と云ふべし近來犯罪人著しく増加して將來益々増加を來たすの傾向あるものと事實に徴して豫知するを得べく既に既往五箇年間の在獄囚の人員を擧ぐれば二十一年は六萬八千二百八十八人、二十二年は六萬三千六百六十二人、二十三年は六萬九千八百八十八人、二十四年は七萬三千二百五十三人、二十五年は七萬五千六百九十九人にして一年より増加せるを見る而かも再犯以上の者十中の五六名若くは七八名の多きに達するあり今にして再犯預防策を講ぜずんば其増加の底止するところを知らざらんといふ凡そ囚人の刑期満ち出獄するに當りてや社會公衆の信用を失ひたるものなるを以て舊に世人の嫌惡するものと云ふのみならず親戚朋友の擯棄して顧みざるに至れるは人情の免がれざるものならん蓋し是等の放蕩囚を保護して正當の職業に就かしめざるべきは當りしを免するに所なきが爲めに遂に再び法律の罪人と爲るを免されざらん左れば出獄人を保護して再び罪に陥るものとを豫防するは尤も急務なるべし然るに元來出獄人保

馬の足

馬の足は...

本年の米作

本年の米作...

新築坂の通

新築坂の通...